

横浜薬科大学薬学部 標準模擬患者募集要領

横浜薬科大学 標準模擬患者〈SP〉募集

横浜薬科大学では、6年制薬学部の4年次に実施される薬学共用試験 OSCE〈オスキー〉に標準模擬患者〈SP：エスピー〉としてご参加・ご協力いただける一般市民のボランティアの方を募集しています。ご興味ある方は、本学における薬剤師の育成に是非ご協力をお願いいたします。

- ・現在、本学以外で標準模擬患者〈SP〉をされている方や、過去にご経験のある方は必ずお申し出ください。
- ・本学あるいは他大学薬学生のご子息、ご息女がいらっしゃる方はご参加いただけません（薬学部を既に卒業された方のご家族の場合は差し支えございません）。
- ・本年度だけでなく、今後も継続的にご参加頂ける方。
- ・医師、薬剤師、看護師などの医療専門職ではない方。
- ・毎年、隔年など12月の日曜に行われるOSCE本試験及びその直前講習会にご参加いただける方。
- ・OSCE本試験当日の拘束時間は、8:30～18:30と長時間に及びます。

■応募方法は末尾にあります。

■お問い合わせ（何でも気軽にお問い合わせください）

横浜薬科大学 SP 養成ワーキンググループ

担当 越智、または、高梨

電話：045-859-1320（直通） FAX：045-859-1301

E-mail：sphamayaku@yok.hamayaku.ac.jp

担当者不在の場合は、FAXか電子メールをいただければ、担当者よりご連絡申し上げます。

標準模擬患者（SP : standardized patient）とは：

薬学共用試験〈OSCE〉において、患者役を演じていただく方を「標準模擬患者」といいます。薬学生が、臨床現場での実務実習を円滑に行うことができるかどうかの実技試験課題に合わせて、受験者（薬学生）と症状や副作用のことを話したり、お薬の説明を受けたりしていただきます。

演劇や患者体験のご経験は全く必要ありません。課題に沿ったおおよそのシナリオに基づき、受験生に対応していただきます。OSCEでは全ての受験生が同一課題で評価を受けますので、模擬患者としての対応が学生毎に違うことは避けなければなりません。「標準模擬患者」とはそのような役割であるため、シナリオの内容通りに繰り返し同じ演技をしていただく必要があります。ただし、シナリオといっても一言一句が厳密なわけではなく、自然なやりとりのなかで行うことができる平易なものです。

一般市民の方に標準模擬患者〈SP〉をお願いする理由：

次のような理由から、薬学部の教職員や医療従事者等が標準模擬患者をすることは、患者とのコミュニケーション力を評価するための試験として適当ではありません。

- ・教員は受験生にとってあくまで教員であり、いくら患者役を演じていても患者と接するというよりは教員と接するという意識になってしまう。
- ・教職員は日頃から受験生と顔馴染みであり、受験生に有利になるよう無意識に誘導してしまう可能性がある。

これらのことから、標準模擬患者〈SP〉は、一般市民の方にご協力いただくのがふさわしいとされています。

標準模擬患者〈SP〉になっていただくまでの事前準備：

1. 10月～11月に実施される新規標準模擬患者〈SP〉講習会に1回参加していただきます。

※初めて標準模擬患者〈SP〉にご協力いただく方は必ずご参加ください。

OSCE本試験にご参加いただけても、新規標準模擬患者〈SP〉講習会に1度ご参加いただければ、次年度以降は次の直前講習会にご参加いただけます。

2. 12月上旬に実施される標準模擬患者〈SP〉直前講習会に参加し、薬学共用試験〈OSCE〉における標準模擬患者〈SP〉の課題シナリオと模擬要領を確認していただきます。

※直前講習会は、2回行います。2回のうちのいずれかに必ずご参加ください。

薬学共用試験〈OSCE〉：12月第3週日曜日（場合によって異なる事があります）

当日の時間管理に合わせて、課題シナリオの内容にて、受験生一人あたり5分間の対応を、適宜休憩しながら繰り返していただきます。

是非、本学の学生に温かい眼差しを向けていただきながら、ご参加いただければと思います。

守秘義務について：

薬学共用試験〈OSCE〉の実施にあたり、ご協力いただく標準模擬患者〈SP〉の方にも守秘義務が伴います。守秘事項に関する同意書にご同意いただいた上で、直前講習会及びOSCE試験当日に臨んでいただくこととなります。

謝 礼：

講習会およびOSCE当日にご参加された方に、薄謝をご用意させていただきます。

■応募方法

「横浜薬科大学 標準模擬患者〈SP〉申込書」に必要事項をご記入の上、FAXまたは電子メールにてお申込みください。

※個人情報につきましては、横浜薬科大学〈OSCE〉標準模擬患者〈SP〉の手続き以外の目的では一切使用いたしません。

応募時期：いつでもご応募出来ます。ただし、毎年10月下旬頃いったん締め切り、それ以降は次年度の扱いになります。

■応募先

横浜薬科大学 SP 養成ワーキンググループ

担当 越智

電話：045-859-1320（直通） FAX：045-859-1301

E-mail：sphamayaku@yok.hamayaku.ac.jp

※お申し込み後、10日程度でご案内のお電話・メールをお送りいたします。

横浜薬科大学 OSCE 標準模擬患者 申込書

申込日: 年 月 日

(ふりがな)

お名前 _____ (男・女) 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

ご職業 _____

ご住所 (〒 -) _____

TEL _____ (日中連絡のつく電話番号)

FAX _____ (お持ちの場合は番号を記入ください)

メールアドレス _____

自宅最寄駅 _____ (交通機関名) 徒歩

以下、あてはまるところに を入れてください。

応募のきっかけをお教えてください。

- 過去に応募または標準模擬患者として協力したことがある。
- 紹介 ⇒ 紹介者名 _____
- その他

本学以外での SP のご経験はありますか？ (必ずご申告をお願いします。)

- ない
- ある ⇒ (所属団体名や大学名: _____)

本学あるいは他大学薬学生の保護者(親戚)ではありませんか？

(必ずご申告をお願いいたします)

- 薬学生の保護者(親戚)ではありません。
- 現在、薬学生の保護者(親戚)です ⇒ お問い合わせください。

- 今年は応募できないが、標準模擬患者に登録したい。

その他、ご要望等があればお書き下さい。

FAX 送信先(送信票などは不要です FAX 045-859-1301

※10日程度で受付通知書、あるいは講習会案内資料をお送りいたします。